

(お録 大概)

野上: 昨日の討論、ハグのウチの会であること、こころでいっているところか  
いい点、発展の方向が問題ある。昨日は中口のもんをいっているが、ハグで昨日の話し  
かどういともいっていいか。  
今度の会、は主として若人が話し、先生は討論にやる。今日は委員と先生  
方が主である。

豊田: 今日質問をやる会である

野上: 問題は中口、広く言えば社会主義の1つの路とハグとちがった点もある、  
植民地の問題をハグはどう解決するか。ラッセル・アインシュタインの考えは  
おもしろい、他の原則が必要なのかどうか。  
~~核兵器~~ 科学者の役割は特長あるか、中口ではいかにうすめられている。  
色んな問題を発表する人に対してハグで質問、ハグを中心に話し進め  
る。

湯川: ハグ精神あるか。ラッセル・アインシュタインの声明が生まれて、科学者が会をむく  
か問題あるか、さういって成功した。一方のかわり利益あり、一方  
不利になることわつた。しかしその後、いく度かの会があり、  
こういう問題にふれ、これはふれていいこと(ハグ)かわつた。  
イデオロギーは一歩進むという事は、核兵器、下午にやりなすら  
何年か、つてもいい。植民地のもんをいっているのは、いかにうすめられている

田中: 同意、昨年の米の共同せんげん、植民地、のもんをいってラッセル  
アインシュタインが学を踏んだ

谷川: 今から10年まえに中立、又は第三 zone の考えは成り立っているという  
考えは変わった。現実の情勢がそうをいっているからである。

湯川: 10年前は戦争せつめは理想はあると考へてきたが、今はちがう

谷川: 政治家は国家利益やとうめんしやを考へるが、吾等は理想の人で行く  
べきである。

湯川: ハグではある種の Universal 問題をいっていなければならないが、  
中口ももんとしていっているのは、軍しく、や核武装のふかむ  
べきである。

豊田: 核武装のとき米ソとどうなるか、日本でもその  
1 にかいてどうなるか。

湯川: 日本のハグと国際ハグを区別。

豊田: 大口と小口で小口がどういう意味か、中口もど  
うして、植民地解放とかんがえて小口をどう位置づけるか。

米ソの agreement の小口はどうか。

例: 戦争でついでに核不使用の約束 (オランダ) 独立のとき武力か。

朝永: いるのだから。

田中: 独立に必ずしも武力が必要ではない。

朝永: 独立の戦争が当時事口をどうするか第三口がわかる問題 <sup>である。</sup>

福島: ハグではイデオロギー論争をさけるほうで、中口はイデオロギ  
ーが基本である。

豊田: 中口のイデオロギーがどういうものかを知る必要は。

福島: 中口とハグの基本精神とどういうことか。

1 次: 世界 原則的のものを主張するのは一つの行き方だが、日本の中口を  
考へて ちやうど せよ  
えると変らざるを得ない。

小田: 植民地が独立するのはイデオロギーもどきで、local conflict  
にあるからどうにか。

小川: 当時、中口の科学者の考え方をしり、合致すると云わねば、西側の科学  
者がむと云う。相互理解は中口とハグで云わねば、中口を理解  
してみれば、中口の科学者には、各口で云わねば、中口を理解し  
てもらう必要はない。

谷川: 整理 日本における政治のやり方は、中口にどうつみかかると、  
中と米との橋渡しに必要。ハグ論争は西と中口との  
間の考え方の channel になる。

貝塚: 中口もどきを解決するのは、科学者が変わる目ではない。

坂田: ハグとマルティズムとの関係。

ハグは戦争のあつた社会から戦争のない社会に移行するに科学  
者が大いにやかりを要する。

坂田: ハンコでイデオロギをいふが、社会科学のハンコでイデオロギと無大差であり得るのか。

田中: ~~日米~~ 米ソ共同声明が重要な足がかりでは。フルニヤツは全同軍縮と平和共存を同時に言っている。アメリカも peace race と言っている。大きな線では流れている。

坂田: 唯物史観とハンコとの関係。  
社会科学的分析はいつまでも一致した結論が生まれるのか。

田中: 全同軍縮をどういふのがいい。

坂田: 植民地解放なども平和的に行うことが出来るのか。

小沼: 1960年の日連総会で反対をし植民地解放は進んでいる。どういふ形で解放するか問題としてハンコで出来るのではあるか。

坂田: 植民地解放が平和的に行えるかどうか。

田中: ラオスかボリネア。

小沼: 植民地解放が世界戦争に引き込まれるのをどうするか。

田中: 植民地独立の社会主義化と問題がある。

山田: シラカが重要な要因と考へるべきである。

坂田: ハンコとして口を動かすか、金と人々を動かしてこえて、<sup>その他に植民地は</sup>大きな経済的援助を要する。

山田: 中国は植民地解放をどういふ全面ぐんしくして進めるのか。

朝水: 現状とどういふ考えがハンコに反映する。

小沼: 植民地問題をとりあげるもう一つの生糸は、日本がその点についていふことも必要である。そうして、<sup>植民地は</sup>植民地をどうするか。

湯川: ロンドン合戦では小口も出るだろう。

小沼: 現在のまゝで植民地が独立すれば経済的に社会主義化せざるを得ない。全同軍縮をいかに進めるか。日本の立場では全同軍縮を進めるに出来るのか。可能な立場でいふか。

小沼: どのくらいハンコで出来るかは大口の発言が多い。

朝水: 援助は社会主義に在るという援助は必要である。

小沼: 日連がどういふ形で植民地の解放を言っている。

湯川: 日連で援助する可能性は無いのか。

坂田: ワンセンせんが人はいない。

坂田: 社会科学的分析をしても足りないのではあるか。

パグではその議論がある。

福島: イデオロギーは社会をどう作るか。パグは人類的から生じている。次は戦争。  
植民地解放は人類的に云う。この点にはつきり認識してのぞむべき。

湯川: それが多い。

田中: そのどとすればいいか。そこから先が難かしい。

福島: そこから先が機構の問題で、アメリカは

貝塚: 1958年5月アメリカの云々の中口が peacefull であるかともいっている。  
アメリカも peacefull であるか云々。アメリカともう少し話し合ひが出来る。

坂田: 統治者の考えをどうするには行かない。

貝塚: 悪人ときめたい議論はしない。

豊田: 大口と小口。どのパグの役わりだが、全部軍縮が大切でその為には  
米・ソが出来るか、小口が出来るか。(経済的に) そのど、大口の方  
をへらしてくれと云うのか多いか、答える機会をへらさないとどうか。

田中: 大口の軍縮小委員会をソ以外に西歐にありたい。ソ連は4倍しかつた。

小沼: アジア、アフリカでやるのは、生産出来るのでないか。

上原: (おぼろげ) の出し方に原則があるのか。

豊田: 原則はない。

湯川: けれども委員会には米・ソ、英が大口で議定がある。

福島: 厚労大会では第一は各口一人でもしやうせよ。

湯川: 個人が face であるのである口の人ということも考えるべき。

路上: 豊田氏の「牛」に反対。個人の意見で「牛」が生れる必要がある。

福島: 人類的観点であるということもどるのか必要である。

朝永: 日本から一人しか行かないのを熱意がないと考えるのも正しい。

田中: 日本から行く人が少いとすれば、一人でも出れば問題は多くてもいい。

湯川: 中口の核武装のもんごいを現状にんしきとしたい。

坂田:

田中: 日本側として吉田発言、自衛隊、水上発言

中口が核武装すればおもてに生れる。

湯川: 世界の九月号に出ている。

谷川 昌

豊田: 今月の2月3日の新聞, 何となくアメリカから中核武装を止めることという話がある。どうか、この話をきいて、公安とどうするから、いしき的にどうしている。原子力産業がアメリカから入っている。民間で出した金もどつていって、国家から金をもうけてどうするか。プルトニウムをどうするか。核武装

田中: 日本側でアメリカ政府の公武の立場か、アメリカの軍部からか中かよ。

小沼: 中核の核兵器の準備をいつまでか。気がかきるとき日本がいつまでか。おまけに核兵器の製造から警備まで。

田中: プルトニウムの平和利用の研究。ぬく料化。

小沼: P.R. にプルトニウムの 241 の crisis section が生じた。U235 と同じくらい。

坂田: 今後火爐を買いのせめ。政策をどうするか。

田中: 原子火爐の平和利用化の研究にあつた。

豊田: 科学者京都会議としておき地の基地をつきよせよと explicit にしておくべきである。

小沼: 西側の核武装と中核、日本の核武装の違いがあるのか。

田中: 欧州では非核武装地帯をはづかしている。他では可能性がある。ワーストは云っている。

貝塚: 原爆をつくるのにいくらかかるとか。

田中:

小沼: 日本人にはあつたか。位置。あつては総長か免職するに云っている。

大槻: 沖原の核兵器に反対のウツに中核はどう成しているのか。

稲島: 沖原は日本政府の基地である。

野上: 植民地の問題: どのくらいはあつたか。をとりあ

げかかっている。

金額は140 は植民地。開け

つにた。援助のほかにもんごり。口連が

Neutral にあつておける。学問的に

どうか。稲島氏から 人類という立場から植民地の

しやう及文がある。中核の核武装 → 日本の核武装

プルトニウムの平和利用

坂田氏: バグはどことか(答はのこす)

アメリカの問題をやるべき。沖原の問題。

1196

昨日の1197の描成の間違いが生じたか; 1197がどうあるべきか、それらの討論になった。(今日の間違いである)